

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 14 日 (2008.2.14)

【公開番号】特開 2002-245151 (P2002-245151A)
 【公開日】平成 14 年 8 月 30 日 (2002.8.30)
 【出願番号】特願 2001-36602 (P2001-36602)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 Q 30/00 (2006.01)

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/60 1 2 4

G 0 6 F 17/60 3 2 6

G 0 6 F 17/60 5 0 2

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 12 月 18 日 (2007.12.18)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 1 】

ネットワークサーバ P は、一般に需要先と契約を結んだプロバイダにより運用されるものである。通信端末装置 D 1 , D 2 をインターネットに接続する場合には、プロバイダと需要先との間で決められたインターネット接続用の ID やパスワードを通信端末装置 D 1 , D 2 からネットワークサーバ P へと送信し、ネットワークサーバ P がインターネットへの接続を許可することで実現される。このようなネットワークサーバ P によれば、需要先からのアクセスに応じてインターネット上における Web サイトのホームページデータが通信端末装置 D 1 , D 2 へと転送され、通信端末装置 D 1 , D 2 においては、ブラウザソフトを用いて各種のホームページデータを閲覧できる。また、ネットワークサーバ P には、メールサーバとしての機能も備えられている。つまり、需要先のメールアドレスに宛てた電子メールは、ネットワークサーバ P のハードディスクなどに一旦蓄えられ、需要先からネットワークサーバ P に対してメール取得のためのアクセスがなされることにより、通信端末装置 D 1 , D 2 に電子メールが取り込まれる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 4 5 】

通信端末装置 D 2 の需要先においては、ID やパスワードが割り当てられていないため、上記のようにして表示された画面 V 4 , V 6 の中から「お客様 ID をお持ちでない場合」を選んでクリックすれば良い。すると、通信端末装置 D 2 の画面には、図 2 の認証画面 V 7 が現れることなく、図 3 のメニュー画面 V 8 が表示される。それ以降は、画面 V 9 , V 1 0 を辿って図 5 に具体的に示すような引取先確認画面 V 1 3 を通信端末装置 D 2 の画面上に表示させれば良い。